

## 第 2 回、第 3 回検討会結果の報告

市立中学校で導入する場合の実施内容				
自校調理方式	親子調理方式		民間調理場活用方式	センター方式
中学校の敷地内において給食室を新築し、給食室において調理した給食を当該校の生徒が喫食する方式	近隣の中学校を親校とした場合	近隣の小学校を親校とした場合	民間事業者の調理施設で調理したものを各校に配送する方式であり、弁当方式と食缶方式とがある（現行は弁当方式）	給食センターで調理した給食を中学校全校に配送する方式
	中学校の敷地内において共同調理場を新築し、親校で調理した給食を近隣の中学校へ配送する方式	小学校の給食室を共同調理場に改修し、小学校で調理した給食を近隣の中学校へ配送する方式		
市の実態に即した学校給食実施方式案				
A 案（自校＋親子）	C 案（親子）	B 案（自校＋センター）	D 案（センター）	E 案（民間調理場）

小学校と中学校の組合せによる課題	学校給食施設が集約されることで生じる課題
中学校間で差が生じる課題	

<p>【カリキュラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全員給食とするためにカリキュラムの見直しが必要となる。具体的には朝の時間やクラブの時間を見直す。</li> <li>全員給食の導入による変更事項等について、教職員や生徒・保護者に丁寧に説明し、理解を得ることが必要である。</li> </ul>	
<p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子調理方式を導入する場合、検収スペース、食器消毒保管庫、カートの置き場等を確保する必要があり、適切な衛生環境を整備できない可能性がある。</li> <li>当初の経費だけで安易に親子方式を試行しても、現段階でも施設の老朽化が目立つ中、将来的に大規模改修が必要となる。単純に小学校の給食室の釜を大きくすればいいというわけではない。</li> </ul>	<p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センター建設用地を取得する必要がある。</li> <li>施設整備費（イニシャルコスト）が膨大な経費となる。</li> </ul>
<p>【施設整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校において、配送車両のための車寄せ、及び荷受スペースが必要となる。</li> </ul>	
<p>【給食時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムの変更と合わせ、中学生にとって望ましい喫食時間を確保できるかが課題となる。</li> <li>配膳について、生徒が 4 階まで運ぶには重くて、時間もかかってしまう。</li> </ul>	
<p>【献立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小、中学校で、同じ献立は栄養所要量の確保が難しい。中学校だけ＋1 品となっても作業に不安がある。</li> <li>作業時間がより限られるため、3 品献立や手の込んだ献立は困難となる可能性がある。</li> <li>運動部活をする生徒にとってはおかず 2 品では物足りないのではないかと。</li> </ul>	<p>【献立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配送時間がかかる学校もあるため、自校調理方式に比べ調理時間が短くなることに起因し、献立内容にも制限が生じる。</li> <li>調理食数が多いため手作りできるものが限られる。</li> </ul>
<p>【調理時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校と中学校の給食を、配送時間を考えて調理するため、調理が間に合うか不安がある。</li> </ul>	<p>【調理時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配送時間がかかる学校もあるため、自校調理方式に比べ調理時間が短くなるため、現在小学校で子どもに美味しいと思ってもらえるように工夫していることができなくなる可能性がある。</li> </ul>
<p>【アレルギー対応食】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中となると、除去食数も増加するため、専用の調理スペースを確保する必要がある。確保できない場合は複雑な対応は誤食につながるおそれがある。</li> <li>中学校給食を調理することにより、現在行っている各小学校独自のアレルギー対応が後退する可能性がある。</li> </ul>	<p>【アレルギー対応食】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理食数が多いため、対応範囲を広げるとアレルギー事故が起こる可能性が高くなる。</li> </ul>
<p>【アレルギー対応食】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>異なる実施方式を組み合わせた場合、アレルギー対応食は中学校間で差を生み出さないように対応範囲の狭い実施方式に合わせるようになる。</li> </ul>	
<p>【アレルギー対応食】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな中学校給食に合わせ、アレルギー対応食に関連する情報管理、運用管理方法について十分な説明及び研修等の準備が必要である。</li> <li>アレルギー対応食に関する情報管理、運用管理は誰もが担当できるようにし、個人の負担ではなく組織（アレルギー対応委員会等）として対応する必要がある。</li> </ul>	
<p>【衛生管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>親子調理方式について、茨木市は 1,000 食を超える学校ばかりになるため、作業スペースの確保は困難である。</li> <li>親子調理方式について、より限られた作業時間や設備環境となるため、衛生管理マニュアルの基準を守ることが困難となる可能性がある。</li> </ul>	<p>【衛生管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調理従事者は非常勤の人数が多くなるため、衛生管理を徹底する必要がある。</li> <li>全校統一献立の場合、事故発生時等の影響が大きくなる。</li> </ul>
<p>【食器】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の給食室について、現在の食器洗浄器では異なる種類の食器洗浄は対応できない学校があるため、食器を統一する必要がある。</li> </ul>	<p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>センターの職員が学校を訪問し、中学校に対応した食育を行うカリキュラム（プログラム）が必要である。</li> </ul>
<p>【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>食育は学校給食を中心とした取り組みを考える必要がある。</li> </ul>	
<p>【配膳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の教室の広さに合わせた配膳方法を検討する必要がある。</li> </ul>	
<p>【検討の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食の満足度なども考えていく必要がある。限られた時間、スペース、人員だと献立に制約ができ、その中でエネルギーや栄養素の確保を考慮するのは困難である。</li> </ul>	
<p>【検討の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の教職員や保護者に丁寧に説明し、理解を得ることが必要である。</li> </ul>	
<p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茨木市は小中学校どちらも大規模校が多いため、調理員の人員確保はこの先も課題となる。</li> <li>親子調理方式について、小中間で食数管理やアレルギー情報の漏れが無いよう体制を構築する必要がある。</li> <li>親子調理方式について、食数管理は小学校のシステムを活用することになるため、連携ミスがおきないか不安である。</li> </ul>	<p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全校分を一斉に調理するため、配送時間を都度変更することは困難である。</li> <li>現在は行事等により昼食時間を自由に変更しているが、学校給食施設が 1 施設の場合、対応が困難となる可能性がある。</li> </ul>
<p>【運営】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>給食担当者（食数管理・行事調整・アレルギー対応等）の役割が重要となる。</li> </ul>	

第 4 回検討会は、茨木市として解決すべき課題、学校給食実施方式に因って解決できない課題、工夫することにより解決できる又はデメリットを減らすことのできる課題について整理を行う。

検討会にて整理し、審議会に申送ることで「茨木市中学校給食のあり方」に繋げる

審議会は「茨木市中学校給食のあり方」を設定する